

事務事業名 総合的な環境保全の推進

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	1	環境に配慮した暮らしの構築
小分類	2	環境保全活動の推進
主要な施策	1	省資源、省エネ生活への意識啓発
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 10 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	環境基本計画や環境配慮指針、温暖化対策推進実行計画等に基づき、環境保全の推進を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	市民、事業者、行政の協働により、環境保全の取組みを計画的に行う。 総合的な環境保全の推進経費 211千円 登別市環境保全市民会議と協働で環境基本計画、環境配慮指針、温暖化対策推進実行計画に基づく施策の検討・実施 ・小中学生による環境ポスター募集事業 ・小学生による「こども環境家計簿」の夏・冬休み中の取組み実施 ・グリーン購入法に基づく調達方針の進行管理 環境保全審議会の運営(委員20名) 363千円 ・環境基本計画、生活排水処理基本計画の審議
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	本年度も引き続き、環境保全の推進に係る活動を行う。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	環境基本法 地球温暖化対策の推進に関する法律 国等による環境物質等の調達の推進等に関する法律 登別市環境基本条例 登別市温暖化対策推進実行計画

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	200	210	574	574	574
事業費合計			200	210	574	574	574

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果指標	温室効果ガスの排出量 (二酸化炭素換算) 基準年度(H16): 18,560 t	トン	目標値	17,070	17,070	17,070	-	-
			実績値	16,170	-			
	温室効果ガスの削減率 (二酸化炭素換算)	%	目標値	8.0	8.0	8.0	-	-
			実績値	12.9	-			

現況 《Check》

現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》
<p>登別市環境配慮指針による目標値（抜粋、なお平成16年度を基準とする。）</p> <ul style="list-style-type: none"> 電力使用量及び車両燃料使用量：2%削減 電力使用量及び車両燃料使用量：2%削減 廃棄物発生量：1%削減 ・用紙類使用量：5%削減 <p>子ども環境家計簿の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成20年度冬休み・・・取組率27.3% 平成21年度夏休み・・・取組率29.8% 平成21年度冬休み・・・取組率32.5% 平成22年度夏休み・・・取組率34.6% 平成22年度冬休み・・・取組率40.5% 	<p>平成22年度で概ね目標値を達成しているが、用紙類使用量に関しては、削減率0.9%と、目標値が達成されていないため、用紙の裏面利用や両面コピーの奨励などを行い、目標達成に努めた。また、登別市温暖化対策推進実行計画及び登別市環境配慮指針は、その計画期間を平成24年度までとしているため、平成25年度以降、更なる環境保全に努めていくため、新たな計画を策定する。</p> <p>平成23年度夏休み・・・取組率54.7%</p> <p>平成23年度冬休み・・・取組率58.9%</p> <p>取組率は増加傾向にある。子どもを中心に家族全員で子ども環境家計簿に取組むことにより、市民の環境保全・保護への意識が高まることを期待できる。</p>

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体に行うべき事業である 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である 国、道、民間等の事業と重複・類似している 	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>細やかな情報提供と環境保全に対する意識啓発を進める上で必要な事業である。</p>
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<ul style="list-style-type: none"> 市民、団体等から具体的な要望がある 市民アンケートの結果から必要性が高い 社会情勢、地域事情等から必要性が高い 市民の大部分が関連することから必要性が高い 	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>多様化かつ複雑化する環境問題は個別の対策事業だけでは解決は難しく、市民、事業者、行政の協働による総合的な環境保全活動が不可欠であるため。</p>
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<ul style="list-style-type: none"> 低予算、少労力で高い効果をあげている 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い 多額の経費や労力を要するがやむを得ない 将来的に効率性を向上できる 	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>市行政の二酸化炭素排出量が減少傾向にあること、また、市子ども環境家計簿の取組み率の増加などから、事業を継続していくことにより、同程度の予算及び労力で効果が上がっていく事業であると言える。</p>
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の向上が見られる 市民、団体等の声から成果を感じられる 目に見える形で成果があがっている 成果の把握は困難である 	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>平成18年度以降、市行政の二酸化炭素排出量は減少傾向にある。</p>

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	登別市環境保全市民会議は平成15年6月に発足し、これまで自然環境や生活環境に関する施策の提言や委員の出身母体の環境に関する実践活動の発表、情報交換、「子ども環境家計簿の作成」などを行っている。会議の目的である「人と自然が共生する豊かな環境の実現」、「心の豊かさを感じられる生活空間の実現」、「公害のない健康で安全な社会の実現」の達成に向け、今後も活動を維持する。
----	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
----	----	--